

令和七年度 四・五・六月の詩

スポーツ

鶴見 正夫

〈走る〉

前へ！

前へ！

ただまっしぐらに

前へ！

きみの前にはゴールがまつ、

きみのうしろにはスピードが残る。

単調な手足のくり返しがきざむ

栄光へのリズム。

きみがきみとたたかう

この長い道程――

()年()組

名前()

〈とぶ〉

大地をけって

どれだけ空中にいられるか

とべ！

より高くへ、

より遠くへ。

からだじゅうをばねにして

きみはいま地球の引力にいどむ。

そのひととき

自由のとき、

いっしゅんの美しい花がひらく。